

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○与えられた課題に真面目に取り組み、積極的に発言できる生徒が多い。 ○要旨や主題をまとめ、さらに自分の考えや思いをまとめることについては、まだまだ練習が必要である。 ○漢字や文法事項に苦手意識をもつ生徒が多く、語彙力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要旨や主題をまとめたり自分の考えや感想、授業の振り返りを書いたりする時間を設け、考えを書くことへの抵抗感を減らし、伝えたいことを論理的に表現する力を育てる。 ○漢字や文法事項は定期的に復習を行い、語彙を増やすプリント等で定着を図る。 ○タブレット端末を利用し、多様な文章や考えに触れ、対話や交流を通して自分の考えを広げ、深めるようにする。 ○文章に主観的に向き合うのではなく、客観的・批判的に捉え、言葉による見方・考え方を豊かにするように課題設定をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを基に根拠立てて自分の意見を示す力を伸ばして行く必要がある。 ○問いに対して、自ら考え解決しようという積極性に課題がある。 ○生徒同士で意見交換を行う場面では、積極的に発言する様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用し、グラフや図等の資料を基に自らの意見を論理的に示す活動を定期的に設定する。 ○生徒が積極的に学習に取り組めるよう、問いの内容や示し方を精選する。 ○单元ごとに個人やグループで探求的な活動を行い、主体的で対話的な深い学びの実現を目指す。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○活発に学習活動に参加している生徒が多いが、基礎クラスの生徒については基礎的・基本的な内容の定着に課題が見られる。 ○既習事項を活用して課題を解決する力および「数学的な見方や考え方」を必要とする発展的な問題を解く力を伸ばす指導の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の机間指導や小テストなどにより、生徒のつまづきを早期に発見し、的確な助言や指導を行う。また、話し合い活動により、生徒が疑問を解決し合う時間を多く取り入れる。 ○1つの課題に対する複数の考えを比較・検討したり、発展・統合したりするために、グループやクラス全体で討議する時間を設けることにより、「数学的な見方や考え方」を伸ばす工夫をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を基に未知の問題を解決する思考力に課題のある生徒が多い。 ○生徒同士でコミュニケーションを取りながら協働する力に課題がある生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味関心を引き出す授業展開を計画しつつ、授業の中に未知の問題を協働して解決していく機会を意図的に増やす。 ○問題解決の仕方の例を示しながら、思考力を高められるよう授業を計画・実践する。 ○グループで問題解決に取り組むときのやり方の例を示し、適宜アドバイスをし、自己分析をさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に歌唱や器楽の活動に参加できる生徒が多い。知識、実技共に基礎的内容の習得が比較的早い。個人差が大きく、時間を要する生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的内容の習得に時間がかかる生徒については、授業で個人指導を実施したり、グループ学習等を実施したりする中で、相互アドバイスにより個人差を少しでも解消できるようにする。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に取り組んでいる生徒が多いが表現の工夫で課題のある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品制作の過程で、それぞれの生徒について視野を広げさせる助言をより工夫していく。浅くまとめてしまう生徒もいるので、より深く考えることを助言する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○男女関係なく協働的に学習に取り組むことができる。 ○体力面で課題がある。 ○学習カード等で、自分の課題や課題解決に向けた取組を、文章で具体的に伝えることが苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎体力を高めるために、授業での運動量を確保する。また、保健学習を通して運動の習慣化の重要性を理解させる。 ○授業内でグループ学習等を実施する中で、相互にアドバイスをして客観的に自分を捉える練習を繰り返していく。また、文章の書き方についても繰り返し指導を行っていく。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学ぼうとする姿勢がよく見られる。 ○小学校での経験や他教科での既習事項を活用して取り組もうとしている。 ○知識の定着に差が見られる。 ○学習内容を自分の生活や将来へ関連付けて、学びを深めたり広げたりしようとする意識に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用し、資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、理解を深める支援をする。また、繰り返し粘り強く取り組める声かけや時間設定を工夫する。 ○生徒用タブレット端末を利用し、主体的に取り組むための興味関心をより高め、学習内容に見通しをもたせて理解を深める。 ○導入やまとめに、実生活での実用例を挙げ、生活とつながる場面を想定できる工夫を入れる。

外国語 (英語)	<ul style="list-style-type: none">○与えられた課題に対してよく取り組んでいるが、知識の定着に課題がある。○小学校からの経験の効果により音声面の運用の基礎ができているが、語彙や文法の定着ができていない生徒が多く、自分の意見等を表出することに苦手意識をもっている。	<ul style="list-style-type: none">○オーラルプラクティスの充実と、ライティング指導の強化により補完する。○テキスト等の反復練習とともに、自分の思いを表出する機会を毎回与え、肯定的なフィードバックをすることで、意欲を継続的に引き出す。
-------------	--	--